２０１２年度　公益社団法人　乙訓青年会議所　委員長方針

経営研修委員会　委員長　大筆　賢太郎

戦後の焼け野原からの復興を目指し、「新日本の再建は我々青年の使命である。」という想いのもと、青年会議所は誕生しました。長期の景気低迷に加えて東日本大震災が起こり、現在我々は戦後最大の国家危機に遭遇しています。今こそ青年会議所が創始の精神を受け継ぎ、更に活躍する時ではないでしょうか。

日本の再建には地域の発展が必要です。その為には、この地域に根差した企業を発展させ、地域経済の活性化に繋げる事が重要であると考えます。地域の人々がやりがいを持って安心して働ける場所がたくさんあり、企業同士が切磋琢磨し共に成長していく事を目指す乙訓（まち）。今、我々が地域から求められているのは、そんな乙訓（まち）を創造する事ではないでしょうか。そこで、我々は企業を継続発展させる力を養い、地域と共に発展する事を考えた経営をしなければなりません。その様な経営を行う為には、個々の企業が自社の経営状況を把握しながら、独自性を追求し発展する必要があります。そして、地域の為に活動を行う我々が自分の事だけで無く地域の事を考えられる経営者になった時、その企業は地域にとって絶対に欠かせない存在になるはずです。

本年度経営研修委員会は、地域に貢献出来るオンリーワンな経営者の育成を目指す為に、乙訓青年会議所のメンバーとより多くの地域の皆様に参加して頂き、３回のオープン例会を開催致します。４月メモリアル１００％出席例会では、メンバー全員で乙訓青年会議所の創立を祝い、地域と企業が共に発展していく為には、地域の事を本気で考え、地域に根差した経営をする必要がある事を学んで頂きます。８月例会では、独自の感性と発想力を磨く為には、人と人との繋がりや交流が大切な事や日常にどういった事を心掛ければいいのかを学び、それを経営にどの様に活かすのかを知って頂きます。そして１１月例会では、これまでに学んだ考え方や知識を活かして、現在の自社の特徴や強みを今一度見つめ直し、今後それをどう伸ばすのか、また新たな価値の創造を考えて頂きます。その上で自社の方向性を明確にして頂き、地域に貢献出来るオンリーワンな経営者としてスタートを切って頂きます。一年間を通じて明るい豊かな乙訓（まち）を築く為に、地域から必要とされる企業が、この乙訓（まち）にたくさん増える事を目的に活動して参ります。また、まちづくり事業、青少年育成事業へ、積極的な参加と協力を行い、会員拡大活動へ力を注ぎ活動して参ります。

最後に経営研修委員会では、委員会メンバーが率先して経営について勉強し、活動を通じてメンバー間の絆を深めます。また苦しい時こそ楽しむ事を忘れずに、負荷が大きければ大きい程、人間は成長するという事を肝に銘じ、様々な場面で存在感を発揮出来る魅力溢れるオンリーワンな人物を目指します。そして近い将来、たくさんの魅力溢れる人物と企業がこの地域に多数存在する、そんな明るい豊かな乙訓（まち）を目指して一年間活動して参ります。